

アルファグループ株式会社  
平成30年3月期 決算説明会

2018年6月14日（木）

# サマリー

## 平成30年3月期総括

### ◆既存の収益基盤に依存せず、さらなる成長のため将来への投資を継続

- ・ モバイル事業 : 市場の多様化に対応しつつ、MVNO専売ショップの出店、スマートフォンアクセサリ販売ショップ等の出店に注力
- ・ オフィスサプライ事業 : 新たに『奈良コールセンター』を開設し、顧客獲得力を強化
- ・ 環境商材事業 : 新たな将来収益源の確立のため、LED照明機器の販売・レンタルの展開に注力

## 平成31年3月期事業方針

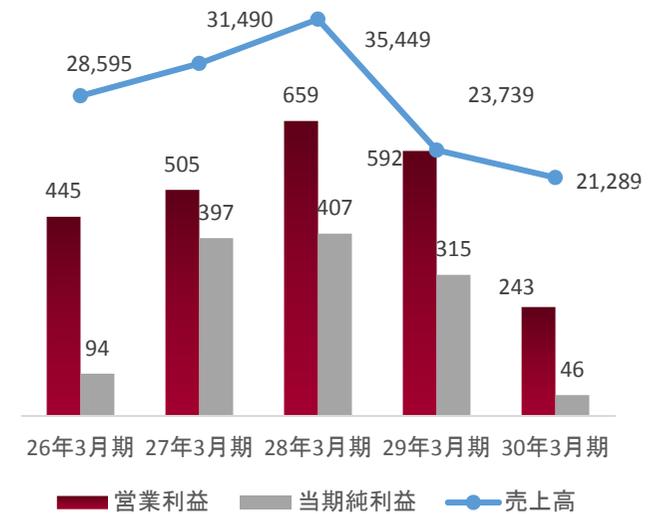
### ◆これまでの投資から生まれた新たな収益基盤をより強固に

- ・ 主力事業となる携帯電話販売、オフィス文具通販は、今期も引き続き安定収益の確保を目指す。
- ・ 新たなる事業となる、スマートフォンアクセサリ販売、LED照明機器の販売・レンタル事業を、当社の次なる収益基盤へ育て上げる。

# 平成30年3月期 決算実績

## ◆ 「売上高」「営業利益」「経常利益」「当期純利益」のすべてが減少

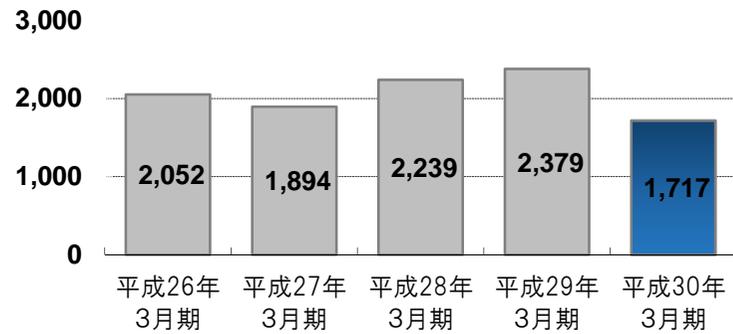
	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 予算	平成30年3月期 実績	対前年実績増減額/率		対予算増減額/率	
売上高	23,739	21,285	21,289	▲ 2,450	▲ 10.3%	4	0.0%
営業利益 (利益率%)	592 (2.5%)	311 (1.5%)	243 (1.1%)	▲ 349	▲ 59.0%	▲ 68	▲ 21.9%
経常利益 (利益率%)	594 (2.5%)	303 (1.4%)	243 (1.1%)	▲ 351	▲ 59.1%	▲ 60	▲ 19.8%
当期純利益 (利益率%)	315 (1.3%)	121 (0.6%)	46 (0.2%)	▲ 269	▲ 85.4%	▲ 75	▲ 62.0%



# 財務状況

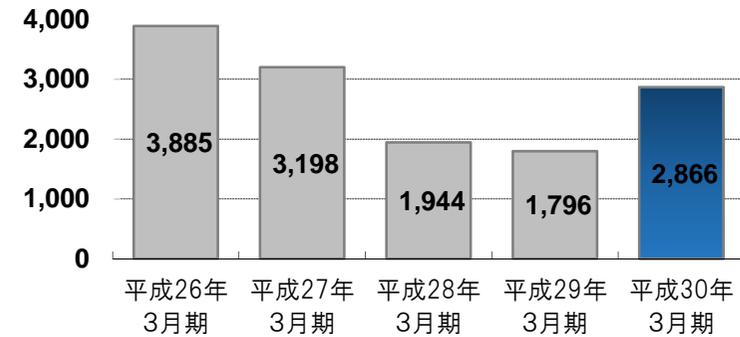
現金および預金

(単位：百万円)

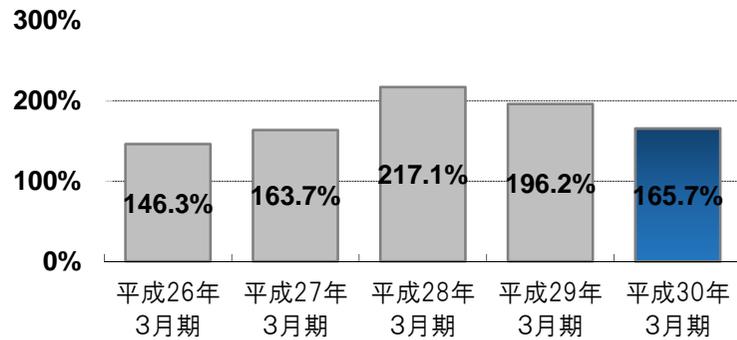


借入金

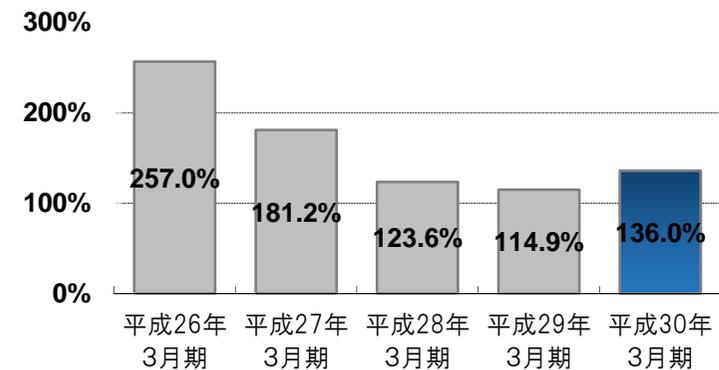
(単位：百万円)



流動比率



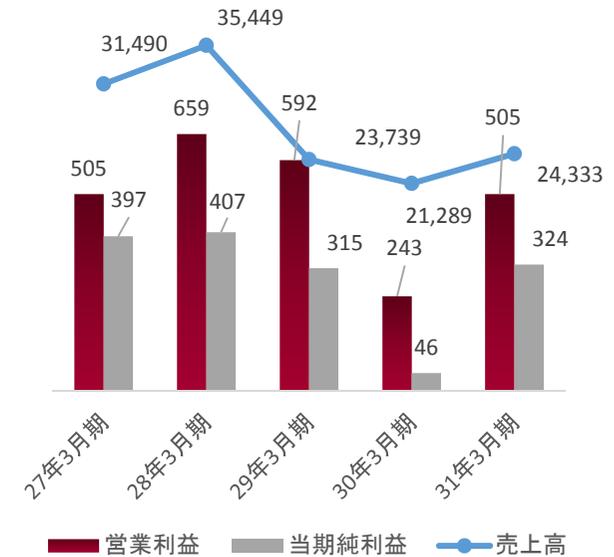
負債比率



# 平成30年3月期 連結業績予想

## ◆ さらなる成長を目指し、将来への投資を継続

	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 計画		対前年実績増減額/率		
		上期計画	下期計画			
売上高	21,289	24,333	11,449	12,884	3,044	14.3%
営業利益 (利益率%)	243 (1.1%)	505 (2.1%)	154 (1.3%)	351 (2.7%)	262	107.8%
経常利益 (利益率%)	243 (1.1%)	485 (2.0%)	148 (1.3%)	337 (2.6%)	242	99.6%
当期純利益 (利益率%)	46 (0.2%)	324 (1.3%)	83 (0.7%)	241 (1.9%)	278	604.3%



# セグメント別 取り組み

# モバイル事業の総括と方針

単位：百万円	平成30年3月期 実績				平成31年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	14,250	15,940	▲ 1,690	▲10.6%	15,432	1,182	8.3%
営業利益 (利益率)	▲ 69 (▲0.5%)	154 (1.0%)	▲ 223	▲144.8%	221 (1.4%)	290	-

## 平成30年3月期総括

### ◆前年と比べ、「売上高」、「営業利益」共に減少

- ・多様化されるモバイル市場に柔軟に対応すべく、MVNO等の新たな商材や販路の開拓に注力したことから、MNO端末とMVNO端末販売構成比の変動により、売上高が若干減少
- ・新規取組みのスマートフォンアクセサリショップの出店を進めるなど、積極的な投資を実行し、販売網を25店舗まで拡大

## 平成31年3月期事業方針

### ◆当社の各販売網からの安定的な収益の確保

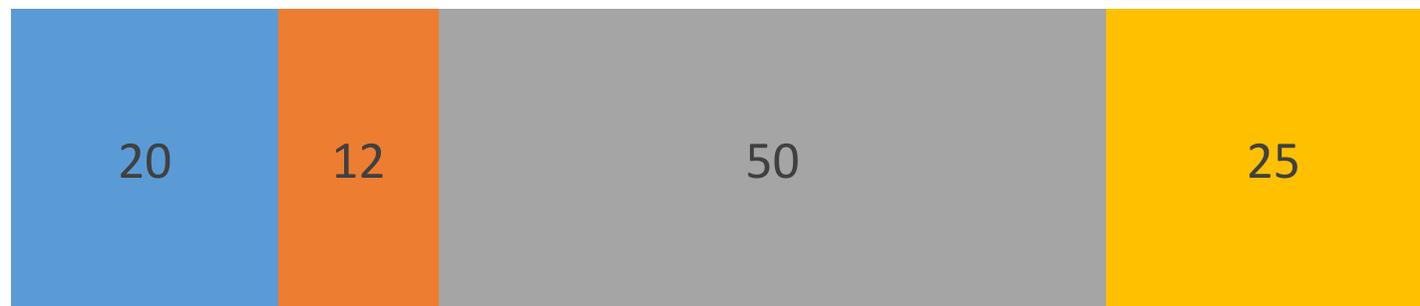
- ・前期までに出店した、MVNOショップ、スマートフォンアクセサリショップからの収益を確保しつつ、販売網の拡大及び強化を継続して進めて行く。

# モバイル事業 30年3月期取り組み（店舗出店状況）

## ◆ 店舗数

平成30年3月末時点：107店舗

### <店舗構成>



■ キャリアショップ ■ MVNOショップ ■ 併売店 ■ アクセサリーショップ

# 携帯部門関連の取り組み状況

## 前期新たに16店舗出店し、82店舗で展開

- auショップ : 2 店舗
- 併売店 : 9 店舗
- MVNOショップ : 5 店舗



29年 9 月出店 auショップ北名古屋



30年 2 月出店 モバワン太田店



29年 9 月出店  
UQスポットアーバンドックららぽーと豊洲

# アクセサリ部門関連の取り組み状況

## 前期新たに11店舗出店し、販売網を25店舗まで拡大

■ 東京：6店舗

■ 神奈川：8店舗

■ 千葉：5店舗

■ 埼玉：6店舗



30年3月出店 SmaPlaらぼーと新三郷店



30年3月出店 SmaPlaらぼーと富士見店

# アクセサリ部門関連の取り組み状況

## 当社独自デザインのSmaPla商品を500種開発



# オフィスサプライ事業の総括と方針

単位：百万円	平成30年3月期 実績				平成31年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	6,358	6,508	▲ 150	▲2.3%	6,705	347	5.5%
営業利益 (利益率)	225 (3.5%)	259 (4.0%)	▲ 34	▲13.1%	201 (3.0%)	▲ 24	▲10.7%

## 平成30年3月期総括

### ◆前年と比べ「売上高」、「営業利益」共に減少

- ・カウネット商材の顧客獲得に特化した、『奈良コールセンター』を開設。
- ・新商材の開拓等、収益基盤の拡大に努める。

## 平成31年3月期事業方針

### ◆2拠点となったコールセンターを活用し、新たな商材の取り扱いに注力

- ・引き続き、新商材の獲得を進めると共に、当社環境商材事業における、新規アポコールなどグループ内シナジーに注力。

# カウネット事業について



## <総合販売カタログ>

OA機器から生活用品まで幅広いラインナップ

最近は生活用品の販売も好調



## <「カウコレ」プレミアムお困りごと解決BOOK>

「カウコレ」プレミアムマガジンを大幅に進化

カウネットならではの独自の価値を提供

その他、カウネット独自のお役立ち情報等



# オフィスサプライ コールセンターの新設

## ◆ 平成29年7月に 新たにコールセンター奈良を開設

奈良・愛媛（既存コールセンター）の2拠点体制で、さらなる収益基盤の確立に注力



コールセンター奈良

コールセンター奈良：  
カウネット顧客の獲得に特化

既存事業の拡大

コールセンター愛媛：  
新規商材の獲得等、  
カウネット以外のテレマーケティング

新規取り組みに注力

# 環境商材事業の総括と方針

単位：百万円	平成30年3月期 実績			平成31年3月期 計画			
		前年実績	増減額	比率	増減額	比率	
売上高	696	1,327	▲ 631	▲47.6%	2,195	1,499	215.4%
営業利益 (利益率)	87 (12.5%)	178 (13.4%)	▲ 91	▲51.1%	82 (3.7%)	▲ 5	▲5.7%

## 平成30年3月期総括

### ◆早期の収益化を目指し、積極的な投資を実施

- ・レンタルスキームの構築及び営業社員の増員
- ・自社製品の展開
- ・270施設に当社LEDを設置完了

## 平成31年3月期事業方針

### ◆高まるLED普及率を鑑み、今期を勝負の年と見定め、営業活動を加速させる

- ・仕入力の強化を図り、粗利率の改善に加え、営業提案力を高める。
- ・環境商材に関わる商材ラインナップを充実させ、各商材を各々の営業フック商材とし、営業力を高める。

# LED導入事例①

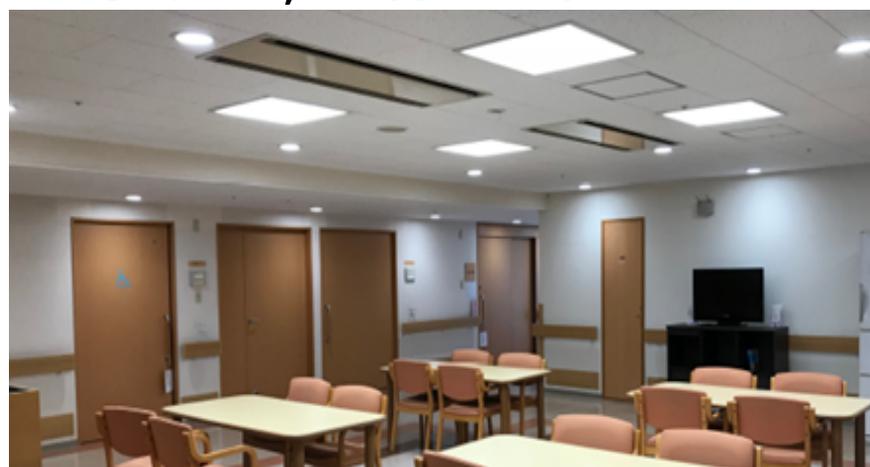
## 堀の内病院

導入数：1,875台 189床



## 医療法人社団大坪会 東和病院

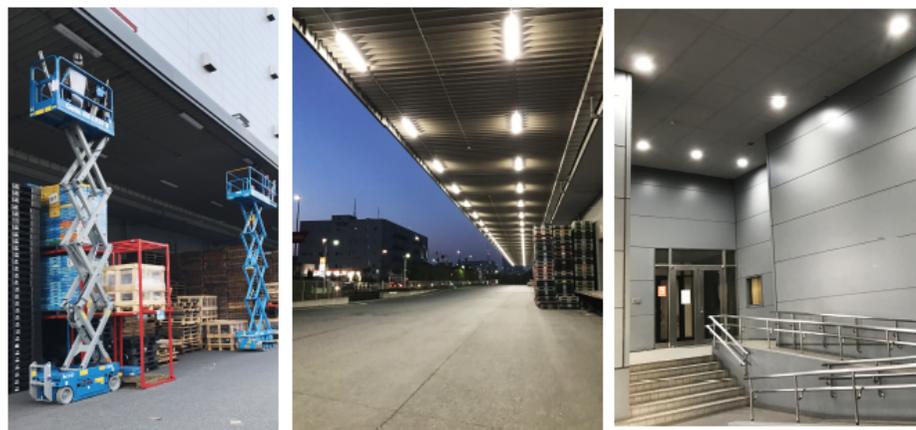
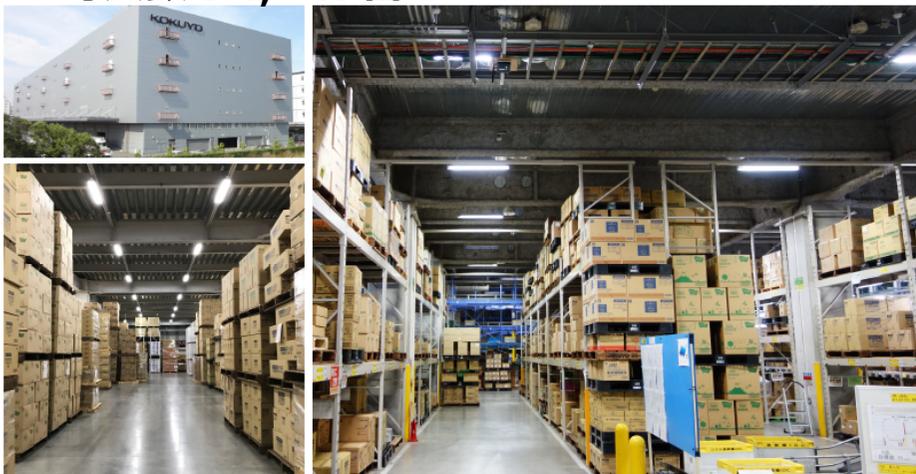
導入数：3,040台 299床



# LED導入事例②

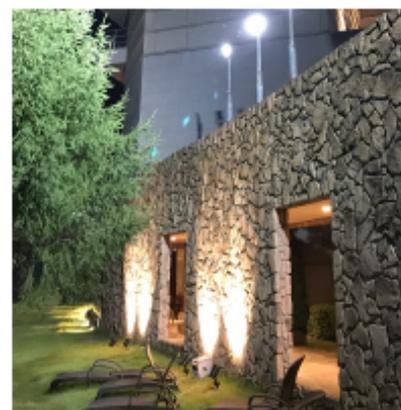
コクヨサプライロジスティクス株式会社

導入数：4,847台

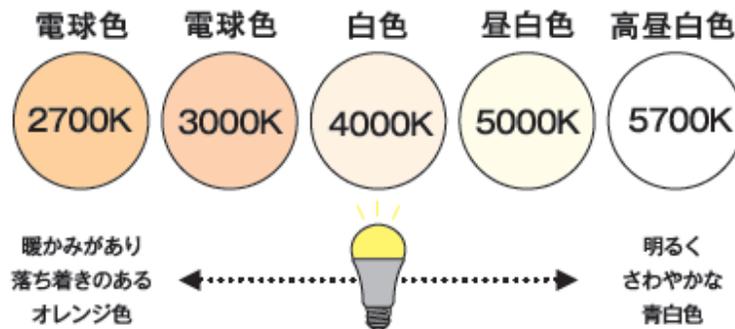


アイランドホテル&リゾート那須

導入数：994台



# LED商品



- 電磁波(ノイズ)を低減<CISPR11・15・22>適合
- 身体への影響を考慮したフリッカーレス機能
- ブルーライト30%カット

企業理念

『人に、よりよく』

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めて参りますが、本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願いいたします。

問い合わせ先： 経営企画 I R 担当 03-5469-7302